

2 Fユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「住み慣れた地域で、お一人一人が育んできた“私の暮らし”その人らしさを大切に」を理念として、できる事に着目し日々のケアに活かしている。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は介護職員全員へ理念の説明を十分に行い、玄関、食堂などに掲示し、常に職員と意見を共有し日々、声を掛け合い実践に向けて取り組んでいる。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族やボランティアの方へ地域での行事や畑作業に参加していただき、ご利用者が生き生きしている姿を共に過ごし、その大切さを実感していただけるよう取り組んでいる。	0	
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣に民家は少ないが、散歩時に近所の方と会話が弾み、お庭のお花を頂いたり、事業所にお誘いしたりと交流が深まってきている。又、定期的に犬を連れて来て下さる方もおられ、利用者の楽しみとなっている。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアの協力で地域で活動している（演芸、ダンス、コンサートなど）方々とのホームパーティを行っており、交流が広がってきている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議で、地域で暮らす独居のお年寄りの情報等を伺い交流を深め、役立つ事ができないか話し合いを重ねているが具体的な事は実行できていない。	1	ご家族やボランティアを対象に認知症の勉強会を行ったが、今後は地域にも広げていく事等、できる事から取り組んでいきたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が各自、自己評価票を作成し、ミーティングで課題について話し合い改善に取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご利用者代表、ご家族代表、ボランティア、民生委員、地域包括センター、ケアマネジャー、介護職員、管理者が参加し、事業所での現状報告(ヒアリハット報告、入退去、行事報告、)を行い率直な意見交換の中、地域に根づいた事業所を目指しサービスの質の向上に取り組んでいる。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者を訪ね、交流会のお誘いを行い町の新聞にも掲載し、公表している。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、内外の研修や勉強会に参加している。又、パンフレット等を準備し必要に応じて活用できるよう支援している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、併設老健と共同の虐待防止委員会や研修等を通じ、知識等の向上に努めている。又、事業所内での虐待防止のため特定の利用者からのストレスを継続的に受けないように、職員の勤務分担を配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1		
理念に基づく運営	4	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族へ、十分な説明を行い、その都度不安や疑問点を尋ね対応している。対応窓口として管理者・ケアマネジャーに気軽に聞ける体制を取っている。	1	解約（退居）の際、口頭での説明のみで行っていたが、今後は、口頭の説明に加えて書面での確認を行い、不安や疑問をなくし理解・納得を得ていきたい。
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者や職員は、日頃からご利用者の意向を尊重するよう努めている。外部からの面会やボランティア訪問等開かれた環境に努め、ご利用者が、自由に意見を伝えられるようプライベートな空間をつくり、ゆっくりと話ができるよう配慮している。	0	
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	季刊誌として、「にこにこ便り」の中で報告している。又、面会時・担当者会議等で、個々の状況説明をあわせて行っている。	0	
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時・電話にて意見等を聞ける体制を取っている。外部への苦情相談窓口とにて、地域包括支援センターの紹介等も行い、それらを運営に反映させている。	0	
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日頃から職員と共にケアに従事しており運営に関して随時職員からの提案や意見を聞き、共に検討し運営に反映している。又、定期的なミーティングでも活発な意見交換を行っている。	0	
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者やご家族の状況の変化・個別の支援に対応できるよう、勤務の調整を行い柔軟に対応できるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご利用者にとって馴染みの関係継続のため職員をユニットに固定化している。移動時も必要最小限に行いご利用者の精神的なストレスを軽減するよう配慮している。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
		19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	基本的人権を尊重し、差別や偏見無く公正な採用を行っている。職員の個々の能力を發揮できるような環境に配慮している。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員に対して研修の機会を設けている。又、研修の資料等から個々に学習できるように努めている。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者・職員・新人職員など段階に応じて内外の研修・勉強会に参加し、育成を行っている。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が自主的に地域の施設を見学・訪問させていただき当施設のサービスの質の向上に努めている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休息室は、更衣室と兼用になっている。又、運営者と職員との直接的な取り組みは無く、管理者が日頃より職員との対話に心掛け健康面・精神面のストレス軽減を図っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、職員の勤務状況を把握し、無理のない勤務計画の作成に努めている。又、管理者は、健康状態にも留意し、体調不良時には、職員の勤務変更などで対応している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼 に向けた関係作りと支援		1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	4	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時に見学の案内を行い、対面してアセスメントが出来るよう促している。また、来所が困難な場合は訪問も行っている。	1	電話相談 来所・見学 実際の生活の場への訪問してのアセスメントという三段階のアプローチにより入居までにより深いアセスメントを行いたい。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者・CM・チーフが対応する事により、入居に関してだけでなく総合的なアドバイスや相談に対応できるようにしている。	1	老健ふる里をはじめ、近隣の他施設や地域との連携を密にし、複合でのアセスメントも可能にしていきたい。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に見学時に面接記録などを利用し状況を客観的に捉え相互に現時点での課題や困っている事を確認した上で適当なサービス・施設を提案し、必要に応じて紹介や案内・アドバイスを行っている。	1	複合のアセスメントや他施設・サービス事業所等のネットワークを充実する事により、より適格で迅速な対応ができるようにしていきたい。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談＝利用のケースが多く実施出来ていない事もあるが、入居前にできるだけスタッフや他入居者との雰囲気を体験していただき安心して入居できるよう来訪を促し、実施している。	1	在宅利用者の情報収集や地域の方々との馴染みの関係を作り、地域で支えていけるように日常的なお付き合いから始めていきたい。
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	1	
	係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者と共に支えあえる関係づくりを大切にしながら干し柿作りやキンカン煮、つわの調理法などの学びの場面作りや声かけに工夫している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人を共に支えるというご家族との関係が少しずつ定着し、畑作業や漬物作りなどの作業と一緒に参加し支える機会が増え交流が深まっている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人・ご家族双方の話をよく聞き、理解に努め、これまでの家族とのくらしがとぎれないように外出・外泊などを支援している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別支援として、自宅やその付近への外出等の支援を行っている。知人やボランティア等の訪問時は再訪につながるよう気持ちよく過ごして頂けるよう心がけている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士がと良い関係となるよう職員が調整役となって支援している。又、生活歴や趣味等の共通点があれば共に係わりを深められるよう努めている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後、入院や他施設などへの面会を行っているが、ご利用者同士の継続的關係の支援は充分ではない。	1	行事等には、継続的に参加して頂けるよう声かけを行い、いつでも訪問して頂けるようにしたい。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	4	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		日頃の会話の中から、本人の思いを受け止め、意向の把握に努めている。又、家族から情報を得ながら、本人の立場になって考え、職員同士意見を出しながら検討している。自己表現の可能な利用者には、具体的な聞き取り（畑作業・編み物等）を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面会時に、生活歴・環境などをできるだけ聞き取り把握し(センター方式を利用)、愛用品などを持ち込み、安心してこれまでの生活が継続できるよう支援している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人のできる事に着目し、役割を提供し生きがいを持つ本人本位の暮らしを支援している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議等で本人・家族・スタッフ・関係者が集まり話し合う機会を設けている。又、その内容を元に介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護期間に応じると共に、利用者の状態の変化に伴い、いつでも、介護計画の変更・作成を行えるようにしている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録により、情報の共有を行っている。又、記録により、利用者の意向や変化を探り、モニタリングや計画の見直しに活かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 した柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の老健・居宅支援事業と連携し、入退所や、利用者の状態の変化に速やかに対応できる体制をとっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議・研修への参加は定着しつつある。ボランティアの定期的訪問により個別の関係も出来始めている。また、消防訓練は定期的実施している。	1	地域住民・警察には離園時の対応を含めた要請を行えるよう情報シートの作成を行い準備を進めている。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のケアマネージャーや事業所とサービスについての、利用法など相談し情報を得ながら支援している。	1	他の事業所との交流は、事業所見学を含め少しずつ広がってきているが、まだ充分ではない。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議において、必要に応じて相談・アドバイスを頂いている。その際、ホームに立ち寄って頂き、ご本人と直接対話する時間を設けている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご本人とご家族の希望を聞き、かかりつけ医を決めている。又、受診・往診の支援を通して、主治医への的確な情報提供が出来るよう関係づくりを行っている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現在は、認知症の専門医の受診はご家族がほとんど行っているが、ご本人の日常の状態をご家族を通して担当医に報告している。必要に応じて指示を受けている。	1	今後は、さらに近隣の認知症専門医との関係を築いていきたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	24時間対応可能な看護職員が日常の健康管理や医療活用の支援を行っている。ご利用者ご自身とも気軽に相談できる馴染みの関係が築けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は情報提供書を作成し、引き継ぎを行っている。入院による混乱を出来るだけ防ぎ、スムーズな退院となるように、家族・医療スタッフとの情報交換を行い、退院後の生活について検討している。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	必要に応じて、担当者会議等を開催し、本人・家族の意向を確認した上で方針を決定、計画に反映したり、カンファレンス等により、方針を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期ケアについては、主治医の指示を受け、ご本人・ご家族の意向に添えるようカンファレンスを行い対応している。	1	今後、終末期や看取りに対する指針を明確化し、スタッフ全員が共有出来るように取り組む。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供書を作成し、正確に引き継ぎを行う。必要であれば、担当者会議に参加する。本人の精神的安定の為、訪問なども行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	5	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	その人らしい暮らしの支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	5	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、個人情報保護について責任を自覚し常に利用者の尊厳の保持に強めている。地域のボランティアの方々へ説明し、理解をお願いしている。個人の記録物は、鍵付きロッカーに保管している。写真や掲示物などの取り扱い等も、同意を得た範囲で公開している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で利用者に自己決定の機会を意識的に設けている。利用者の意思が伝えられるよう時間・空間・表情等に配慮している。利用者が理解できるよう、表現の仕方や方法を工夫し、理解できているかその都度確認している。	1	利用者が気兼ねなく素直に表現できるような人間関係や空間作りをしていきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特にタイムスケジュール等はなく自由に過ごして頂いているが、食事・入浴等流れとして出来上がっているものがあるので、無理に合わせなくてもいいように声かけを行っている。利用者のペースに合わせながら意向を聞きながら過ごせるよう支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	日々の衣類選びや外出・行事参加時の化粧など利用者の好みできるように支援している。本人の望む店での理容・美容は、ご家族による支援が中心であるが、必要に応じて個人支援も可能である。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化により介助が必要な利用者へは食器を工夫したり共に食事をしながら安心して食べて頂けるよう雰囲気づくりを大切にしている。時には弁当にして屋外で食事する事も楽しみとなっている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	重度化により食事が減ってきている利用者へは好みの器で本人の望む物を食べる時間をつくる等日常的に楽しめるよう支援している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表に記入し、排泄パターンを探りながら服薬の調整やさりげなく声かけを行っている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人の希望に応じ、職員が共に入浴する等、安心して楽しめるように支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の体調、表情、動作等から安心して無理なく一日を過ごせるよう居室やソファでいつでも休息・入眠できるようにしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の家事や手伝い以外でも畑作業やキンカン煮等利用者の経験や知恵を発揮する機会を設け個々に役割を持てるよう心がけている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、本人による金銭管理(所持)は、していないが預り金により買い物等は自由にできる状況である。ご本人の希望に応じご家族と相談しながら所持することも可能である。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望時は、可能な限りご家族・ボランティアの協力もあり外出支援を行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個々の希望に出来る限り添えるようにご家族等と相談し協力を得ながら、可能な限り外出支援を行うようにしている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望があれば速やかに対応している。本人あてに送られてきた手紙なども希望があれば、職員が読み聞かせ、返事を出せるよう支援している。又、家族への手作り年賀状は定着してきている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問時は、居心地良く過ごして頂けるように居室や食堂等を利用しお茶の提供等の対応を行っている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	4	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	併設老健と共同の身体拘束防止委員会等を通じ身体拘束の内容とその弊害を認識し身体拘束をしない事の重要性を理解しケアに取り組んでいる。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける事の弊害は理解しているが、現在はまだ玄関に施錠している。日中、見守り可能な時は開錠し、利用者が外出を希望された時は、共に同行するようにしている。開錠へ向けて取り組んでいる途中である。	1	自由に施錠・開錠できる環境を作りたい。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	できる限り利用者の行動を予測し動向に注意し事故の無いよう配慮している。	1	夜勤者の増員を行い夜間の見守りを強化し事故防止に努めている。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	できる限り排除しないで済むよう利用者の状態に合わせて対応できるよう保管場所などの工夫を行っている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	併設老健と共同の事故防止委員会等を通じ知識や技術等の向上に努めている。利用者一人一人の状況に応じた対策を検討中である。又警察・消防・近隣の住民との協力体制を作っている最中である。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	現在、不定期的な訓練・勉強会やマニュアルを使った確認を行い急変や事故に備えている。	1	年間計画を立て、定期的に行えるようにする。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併設老健と合同で避難訓練を定期的実施し、災害マニュアルを作成し定期的な設備点検も実施している。併設老健とだけでなく、地域住民との協力体制づくりを今後取り組みたい。	1	警察・消防・近隣住民を含めて防災訓練やシュミレーションを定期的に行っていきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	アセスメントや担当者会議、ご家族の面会時等にリスクについて説明し利用者の暮らしの大切さや思いを共有しながら取り組んでいる。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃から利用者の病状や既往歴を把握し観察を行い体調変化の早期発見に努めている。介護記録の記入や申し送りにより情報を共有し適切な対応ができるようにしている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に処方箋での確認や誤薬を防ぐ為、職員への認識を徹底し服薬後の状況変化はすぐに主治医へ報告している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便の観察はシートを利用し各自の特徴を把握している。又自然便を促し、食事・飲み物の工夫をし、状況に合わせた薬の調整を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後一人ひとりにあった歯ブラシを使用し口腔ケアを行っている。必要に応じ確認・介助等各自にあったケアを行っている。歯科衛生士（ボランティア）の協力もあり、職員は口腔ケアに関する知識・技術の習得に取り組んでいる。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によりカロリー計算された献立を用い調理している。介護記録に食事量・水分量等記入し、十分な量が摂取できるよう配慮している。日頃、水分が不足がちな利用者にはより細かな水分補給シートを使用し各自の把握を徹底している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	併設の老健との共同の感染対策委員会を通し、又、施設内研修を受け、予防・対応策の確認・実施を実行している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事の取り置きは2時間以内、生ものは当日届いた物を使用、生野菜・果物は消毒し、食材は検食分として保管する等安全な食材管理に努めている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花々やベンチを置き明るく和める場所になるよう取り組んでいる。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的で居心地のいい空間となるよう月にテーマを変えた貼り絵・飾り物・写真の掲示物や季節の花、暖簾を使用し工夫している。利用者がリラックスできるよう状況に応じた音楽も使用している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、ステーション、食堂にソファを設置し、又冬には炬燵を設置しておりプライベートの空間が広がるよう工夫している。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室により差はあるが、なじみの家具、好きな物を持って来てもらい居心地よく過ごせるよう工夫している。利用者・家族と共にベランダで花の手入れをされたりと居室でゆっくりとすごされる時間も増えてきている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に温度計、居間には温度・湿度計を設置し常に注意し調整できている。自然環境に恵まれている為、日々の外気の入替は習慣となっている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーや廊下の手すりは設置されているが、食堂、居間、脱衣所には手すりがない為、安全な導線に家具を置くなど工夫している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗があった際は原因を考え、コミュニケーションをはかりながら、自立して暮らせるよう支援している。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	食堂や各居室のベランダで思い思いの花を育てられたり洗濯物を干したりと活用している。又利用者にとって畑での季節の野菜作りがおおきな楽しみとなっている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。